第9回
松本市動物愛護管理推進懇談会

令和7年11月28日（金）
松本市保健所　食品・生活衛生課

（報 告）
１ 前回以降の市の取り組みについて

松本市の動物愛護管理推進事業実施状況（令和６年度）及び実施計画（令和７年度） 赤字：未達成　新規実施

資料１

長野県 動物愛護管理推進計画	松本市の動物愛護管理に関する基本方針	長野県推進計画達成状況	R7年度実施計画		
	取組方針	目標値（県）	実施事業	事業実績（10月末現在）	R7後期取組予定
【継続的施策】 犬・猫の引取り頭数及び殺処分頭数の減少		30頭以下 80%以上 90%以上 800頭以下 10%以上 60%以上 5頭以下　50頭以下	犬・猫の譲渡（個人ホームページ掲載、保健所譲渡） 動物愛護管理活動支援事業補助金(地域猫・多頭飼育) 負傷動物の治療（職員、県獣医師会・長野県委託） 保護動物の馴化	＜譲渡ホームページ掲載＞ （保健所）犬：１頭　猫：２頭　（個人）犬：０頭　猫：16頭 ＜負傷動物の治療＞ 獣医師会委託件数８頭 11件	
【継続的施策】 危害・迷惑の防止		97%以上	狂犬病予防の啓発（集合注射延べ46会場、3,371頭） 特定動物への立入検査（1回/1施設） 個別指導（苦情調査時、咬傷事故調査時）	＜集合注射＞ 延べ46会場　2,970頭 ＜咬傷事故調査＞ 15件	
【継続的施策】 普及啓発活動	１　普及啓発活動 ①正しい知識の啓発 ②様々な伝達手段による情報発信 ③動物関係者との連携 ④地域の普及啓発の担い手育成		ホームページ掲載（飼い主の義務、飼育のマナー等） 犬の登録時の説明（犬の飼い主向けリーフレット） 集合注射会場での掲示（糞尿の片づけ、リード装着） 講演会（テーマ未定） チラシ配布・回覧（犬の糞尿処理・猫のえさやり等） 個別指導（苦情調査・犬の返還時） ホームセンターの掲示協力（綿半芳川店） 動物愛護推進員委嘱（20名） ペット写真コンテスト（7月7日募集開始）	＜ペット写真コンテスト＞ （動物愛護週間） 応募数：39件 オンライン投票数：505件 展示：ＨＰ、松本市博物館 インスタグラムで周知	＜講演会＞ 人と地域に向き合う動物愛護管理の講演会 R8.2/28 会場:なんなん広場
【継続的施策】 関係機関・団体との連携			保健所職員,動物愛護推進員技術研修会（県）参加 動物愛護管理推進懇談会（県）参加　（市）開催 飼犬管理対策協議会（松塩筑）参加 民間事業者等との協定の検討（普及啓発・災害対策）	＜民間事業者等との協定の検討＞ 協力・連携内容について協議中	
【重点施策１】 猫問題への対策	２　猫問題への対策 ①正しい飼い方の周知 ②飼い主のいない猫への関わり方の周知 ③地域猫活動の推進	各所1回以上	チラシ配布・回覧（猫の飼い方・関わり方・地域猫） 個別指導（苦情調査時） 猫の飼い方教室 動物愛護管理活動支援事業補助金（地域猫）	＜動物愛護管理活動支援事業補助金＞登録団体：54 補助金交付実績：26件 オス34頭 メス68頭	猫の飼い方教室
【重点施策２】 多頭飼育問題	３　頭飼育問題への対策 ①多分野の関係者との連携・協働 ②動物ボランティアとの協力 ③飼い主の精神面に配慮した解決	保健所の管轄区域ごとに年1回以上の実施	福祉関係者やボランティアと連携した飼い主対応（庁内外） 引取り・譲渡 動物愛護管理活動支援事業補助金（多頭飼育） 社会福祉と動物愛護の連携会議（県、社協） 包括的相談支援推進連絡会議（庁内外） 終活庁内連絡会議	＜福祉関係者やボランティアと連携した飼い主対応＞ 多頭飼育問題対応：８件　対象頭数：80頭(見込) ＜動物愛護管理活動支援事業補助金＞ 補助金交付実績：1件（オス2頭メス18頭） ＜社会福祉と動物愛護の連携会議＞ 令和７年10/22　参加 ＜包括的相談支援推進連絡会議＞　＜終活庁内連絡会議＞ 令和７年 4/25 6/17 9/22　12/26(予定)　令和７年 4/29　参加	
【重点施策３】 災害対策	４　災害対策 ①飼い主の「自助力」を高めるための啓発 ②地区住民や動物取扱業者の「共助」の体制づくり ③被災動物のシェルター機能の検討	保健所の管轄区域ごとに年1か所以上の実施	ペットの災害対策ガイドの内容見直し 松本市総合防災訓練（同行避難訓練） 災害対策研修会（県、獣医師会） 同行避難の周知 指定避難所へのスターターキット配備開始（危機管理課） 同行避難対応マニュアル作成（予定）	＜松本市総合防災訓練　（同行避難訓練）＞ 10/19（日）中山小学校 参加者：長野県、動物愛護会（犬２頭）、一般の飼い主（犬２頭） 内容：スターターキットを用いての動物一時飼育場所の設営の実演 ペットの避難体験 ＜災害対策研修会（獣医師会）＞11/9（日）あずさ会館	ペット災害対策研修会 R8.1.21 会場未定
【重点施策４】 動物取扱業	５　動物取扱業者への対応 ①法令に基づく厳正・適格な監視指導 ②情報提供や相談対応	監視指導計画件数の100%	監視指導計画に基づく立入検査 個別相談対応 動物取扱責任者研修会 苦情時の抜き打ち立入検査	＜監視指導計画に基づく立入検査＞ ・計画に基づく立入：43施設　63件 ・苦情対応：２件 ・移動販売：１件	
	６　市の取組体制の構築 ①職員の適正配置・資質の向上 ②動物愛護センター機能の在り方検討		専門職の配置（愛玩動物看護師） 職員育成（国・県等の研修参加） クラウドファンディング（猫の不妊去勢手術補助金・収容動物の治療委託等の継続） 犬の登録業務のDX推進（相談対応・調査指導時間の捻出）	＜専門職の配置（愛玩動物看護師）＞ 治療補助・収容動物の評価・グルーミング・順化・譲渡時の飼い方説明 ＜クラウドファンディング＞ 実績：54名　548,700円（11/26現在） ＜犬の登録業務のDX推進＞ キャッシュレス対応開始(８月から)	
【継続的施策】 動物介在活動					

咬傷事故調査

１ 発生件数

２ 犬種

柴犬8　雑種3　その他(トイプードル、シーズー等)

３ 原因

・犬の性質(神経質、臆病、縄張り意識、咬み癖がある)
・飼い主の注意不足、制御ができない

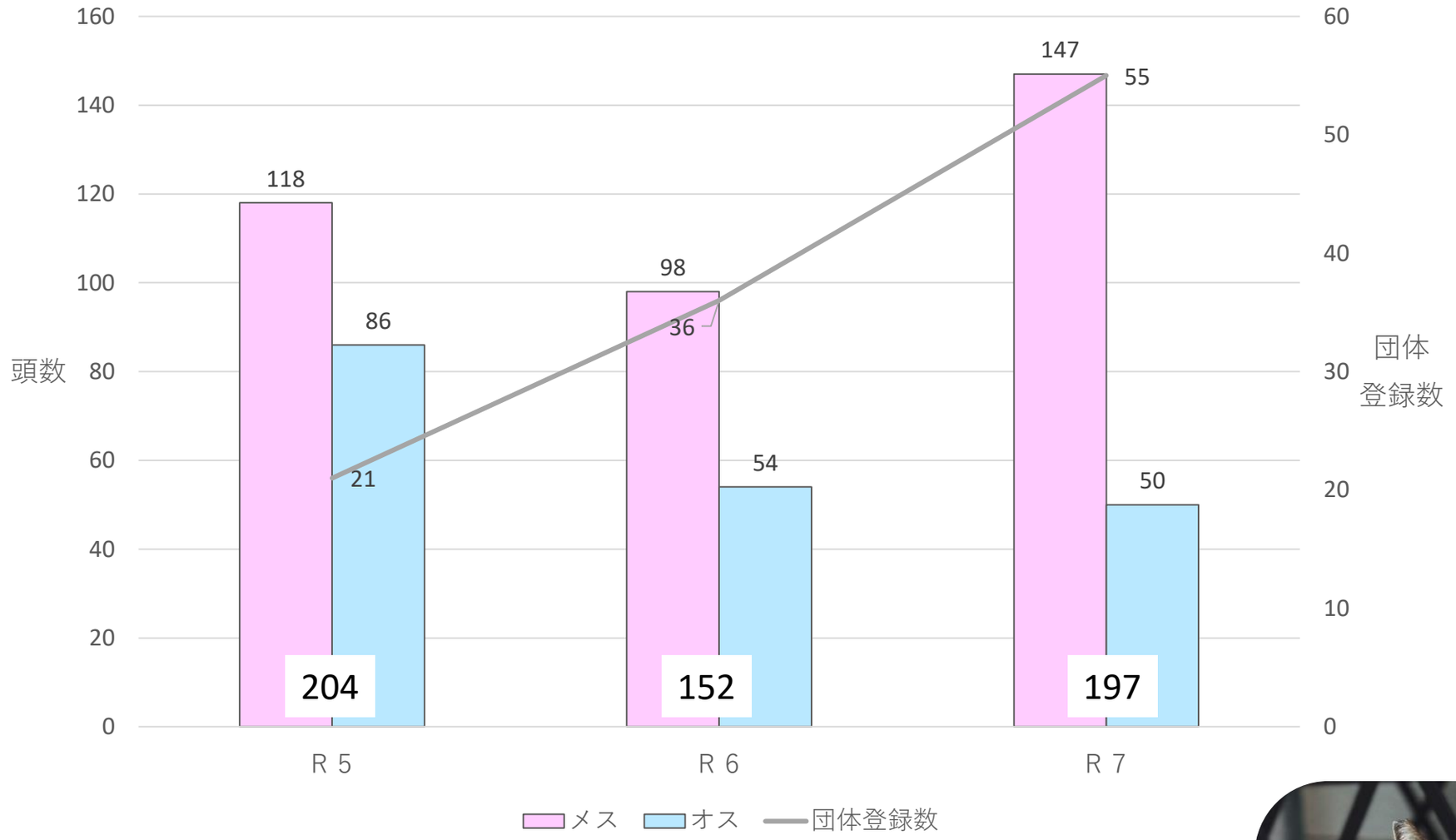
４ 対策

・適正な社会化
・飼い主の注意

ベストショット！みんなのペット写真コンテスト2025

動物愛護管理活動支援事業補助金（地域猫）

1 団体登録・補助金交付実績



2 登録数・交付件数増加の要因

・ボランティアや町会からの相談、申請の増加
・メディアによる周知

3 今後の予定

・効果の検証
・制度（申請手続き）の見直し

多機関連携による対応事例

	事例A	事例B
動物種（数）	犬（2頭）	猫（20頭以上）
飼い主	高齢夫婦	高齢男性（独居）
相談者	地域包括支援センター	生活福祉課（生活保護） 地域包括支援センター
相談内容	狂暴な犬がいるため介護関係者が家に入れない	野良猫が家に出入りして子猫も生まれている
対応	・現状の共有（近隣住民、民生委員、包括、デイサービス、高齢福祉課、生活福祉課、病院、保健所） ・犬の確認（包括、保健所、ボランティア） →信頼関係構築中	・現状の共有（包括、保健所） ・猫の確認（包括、保健所、ボランティア） ・猫の捕獲（ボランティア、保健所、包括） ・不妊・去勢手術

令和7年度（第45回）松本市総合防災訓練

令和7年度（第45回）松本市総合防災訓練

令和8年度事業計画(案)

人と動物が共生する住みよい生活環境を構築するため、動物愛護管理に関する基本方針に基づき、動物の愛護と正しい飼い方の普及啓発活動、猫問題や多頭飼育問題への対策、ペットとの円滑な同行避難に向けた災害対策等を実施する。

１　事業内容

⑴　動物愛護管理に関する基本方針に基づき、以下の６つの施策に重点的に取り組む。
　①普及啓発活動、②猫問題対策、③多頭飼育問題対策、④災害対策、⑤動物取扱業者対応、⑥市の取組体制の構築

⑵　基本方針の進捗確認及び市の取組みに対する検証を行うため、動物愛護管理推進懇談会を開催し、動物関係団体や学識経験者等の委員と意見交換を行う。

２　令和８年度事業内容

⑴　動物愛護管理推進懇談会　：年２回（７、１１月）開催し、市の取組みについて意見を伺うとともに、動物関係団体との連携体制の構築を図る。

⑵　普及啓発活動　：毎年度テーマを設定し、「人と地域に向き合う動物愛護管理の講演会」を市民向けに年１回開催。Ｒ８は、猫問題について

⑶　災害対策　：飼い主とペットが円滑に同行避難できるよう、県との共催により自治体職員等を対象とした研修会を年１回開催

※指定避難所へのスターターキットの配備（危機管理課で歳出予算要求）

⑷　猫の不妊去勢手術費の補助：① 地域猫活動の推進に向けて、地域猫の不妊去勢手術費を補助
② 多頭飼育問題への対応で引き取った猫の不妊去勢手術費を補助
③ 効果検証

⑸　寄附金の募集　：クラウドファンディング型ふるさと納税制度を活用した寄附金の募集

⑹　犬の登録事務の見直し　：電子申請化及びキャッシュレスシステムの導入・マイクロチップ制度への参加検討